

令和8年熊本地震における水道の応急復旧について

- 7月28日に発生した令和8年熊本地震による水道本管の被災に伴い最大約10万8千戸の断水（4県14自治体）が発生したが、8月28日にすべての水道本管の応急復旧が完了。
- 1日も早い復旧を目指し、日本水道協会の協力を得ながら、1日最大78班約270人体制で全国の水道事業者及び工事業者を派遣し、地上への仮設配管も活用しながら、被災した水道本管の応急復旧を支援。

<復旧済>（最大断水戸数）

福岡県柳川市（7戸）、佐賀県太良町（41戸）、長崎県南島原市（約439戸）、
 熊本県熊本市（約20,970戸）、熊本県八代市（約25,269戸）、熊本県人吉市（約15,000戸）、熊本県宇土市（約12,200戸）、
 熊本県上天草市（約7,670戸）、熊本県宇城市（約18,000戸）、熊本県天草市（約1,100戸）、熊本県御船町（約2,600戸）、
 熊本県甲佐町（約500戸）、熊本県氷川町（約3,231戸）、熊本県芦北町（約1,000戸）

※今後、本復旧に向けた調査等で異常が見つかった場合は適宜対応



現場調査



水道管の被害



地上への仮設配管



復旧工事